

タイトル
～サブタイトル～

（サブタイトルは教訓から一番伝えたいことを記入する）

〇〇支部：〇〇〇立〇〇〇学校

職名 〇〇 〇〇

（事務職員経験 年目）

【背景と目標】

目標設定と実践した動機や、実践前の状況・背景など、実践を始めるに至ったきっかけについて具体的に記載してください。

《例》

背景(学校の児童生徒数、教職員数、経験年数、学校教育目標、学校の基本方針等)、実践前の状況、当時の課題等

【成果と課題】

実践の成果と課題について、具体的に記載してください。

《例》

どのような効果があったか。客観的な評価やアンケートなど。何が達成できて、何が達成できなかったか。達成度はどれぐらいで、達成できた理由は何か。また、達成できなかった理由は何か。周囲の職員の反応はどうであったか。関係者の評価や自身のうれしかったことや悲しかったことは何か。この取組は自分にとってどのような成長の機会となったか。 など

※校長や共同学校事務室等リーダーからの感想があると良いです。

【協働・取組】

取り組んだ内容や誰と協働したかなど具体的に記載してください。（取組の新しさ、力を入れたこと、苦労したことなど）

【教訓】

実践の成果や課題を踏まえて、得た教訓。今後の取組の方向性や展望、次年度に取り組みたいことについて記載してください。

《例》

連携をはかる相手や取組をすすめる上で必要な情報や手立ては何か。 など

実践状況の写真や図表があると、内容がとても分かりやすく伝わります。

※個人が特定できる写真は避けてください。
掲載する場合は、必ず本人の了解を得てください。

※写真等に表題を付けてください。

※上記に示した様式（「小見出し」等）と次の要件を満たしてください。

①ページ数

2ページ以内

※別添資料がある場合、資料はレポートとは別に2ページ以内

②1ページの文字数

23文字×46行×2段組

③文字フォント・サイズ・文体

MS 明朝、10.5pt、です・ます調

